

Public Information Furubira

広
報

ふるびら

2017 [平成29年]



2月号
No.495



平成29年1月8日 平成29年古平町成人式
(撮影場所:文化会館太陽ホール)

ふるびら幼児センターみらい 保育の状況

表1 保育形態と内容

区分	短時間型保育 (幼稚園機能)	長時間型保育 (保育所機能)
対象年齢	4～5歳児	満6か月～5歳児
定員	30人	50人
		3歳以上児 36人
		1・2歳児 12人 0歳児 2人
要件	右記以外の人	保育を必要とすること
保育時間	午前8時30分～午後1時	午前7時30分～午後6時
休園日	日曜・祝日・年末年始	日曜・祝日・年末年始

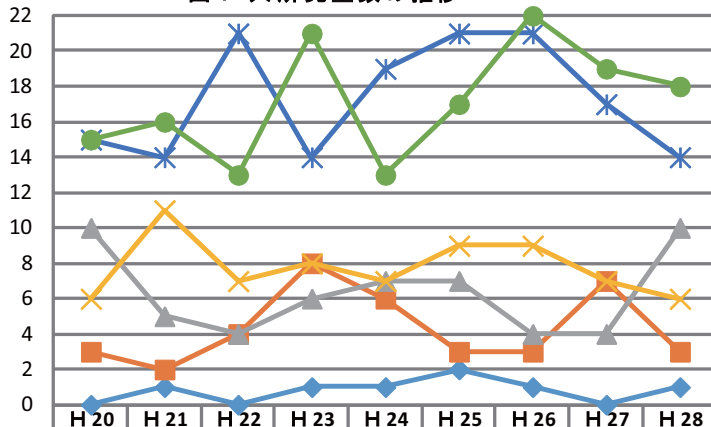


幼児センターの状況

ふるびら幼児センターみらいは、幼稚園機能と保育所機能を併せ持つ認定こども園として平成20年4月に

認定こども園ふるびら幼児センターみらいは、平成20年4月に開園し9年が経過しました。年月の経過とともに保護者の考え方や就業環境が変化し、保育要望が増えている状況にあります。入所児童数や保育の状況などについてお知らせします。

図1 入所児童数の推移



	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28
0歳	0	1	0	1	1	2	1	0	1
1歳	3	2	4	8	6	3	3	7	3
2歳	10	5	4	6	7	7	4	4	10
3歳	6	11	7	8	7	9	9	7	6
4歳	15	14	21	14	19	21	21	17	14
5歳	15	16	13	21	13	17	22	19	18
合計	49	49	49	58	53	59	60	54	52

開園しました。4～5歳児を対象とした短時間型保育(幼稚園機能)は定員30人、保護者が働いている等で保育を必要とする満6か月から5歳児を対象とした長時間型保育(保育所機能)は定員50人となっています。(表1参照)



入所児童数の推移

入所児童数は平成26年度をピークに減少しています。(図1参照※4・5歳児は短・長時間合せた児童数となっています。)年齢ごとの入所児童数は年度ごとにはばらつきがあり、今年度は、0～2歳児が定員の14人入所しており、待機している子どもも複数いる状況です。



0歳児からの保育 要望が増加

開園当初、0～2歳児の保育要望状況及び5年後の子どもの数等の推計から定員を0歳児2人、1・2歳児12人と設定しましたが、9年が経過し、現在は0歳児からの保育要望が増えてきている状況です。平成27年3月に策定した子ども子育て支援事業計画のアンケート調査においても、平成31年度までの期間、0歳児の保育要望は3～4人で推移することが見込まれています。



保育スペース・ 保育士が不足

待機児童がいる0～2歳児の定員ですが、法律上の最低面積基準は、0歳児6人、1・2歳児16人まで保育をすることが可能となっています。しかし、子ども14人のほかに保育士4人が入ると現在でもかなり過密な状況で、さらに昼寝の際に1人で寝付けない子どもにも保育士の添い寝が必要になるなど、保育スペースが限界に近い状況にあります。

幼児センターの改修を行います

保育スペースが手狭になったことから、現在、あまり使用していないホール入り口の左にあるカウンターを取り払う工事を行います。ここに可動式のフェンスを取り付け、保育スペースとしても使用できるようにします。工事は2月から始まります。



0歳児の定員を1人増やすことも検討してまいりました。しかし、職員は基準を上回る配置をしていますが、幼児教育の充実、安全な保育のためには臨時・代替の保育士が不足している現状にあります。また、育休等の代替保育士についても募集は行っていますが、まったく応募がありません。これは、古平町だけでなく近隣町村も同じような状況です。

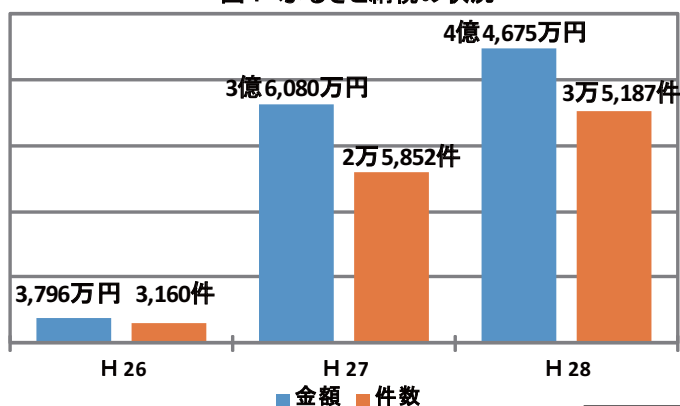


今後の対応

このような状況の中、現在対応していることは、退所した子どものあとに、待機児童の中から優先順位が高い子どもに入園してもらうことです。また、保育士が十分に確保できた場合、定員を超えて弾力的な運用をするなど、可能な限り利用者の希望に沿った対応をしていきます。

ふるさと納税 4億円突破!!

図1 ふるさと納税の状況



今年度のふるさと納税額が、12月末時点で、4億4,675万円となりました。(図1参照)平成26・27年は、それぞれ年度末(3月末)の金額と件数ですが、今年度は12月末時点でこれらを超えています。11・12月の申込みが特に多く、2か月で約2億6千万円の寄付がありました。

ふるさと納税された金額のうち約7割は贈呈品を贈る経費として町内水産加工業者などに支払われます。このほか、郵便料やシステム利用料などのその他の経費を差し引いた残りの約3割を「ふるさと応援基金」として積み立てます。積み立てた寄付金は、子育て支援や定住支援などの人口減少対策を中心に活用しています。

贈呈品の人気TOP5 (平成28年12月末現在)

- | | |
|-----------------|------|
| ① 辛子明太子どーんと2kg | 清水商店 |
| ② たらこ・醤油いくらセット | 大島水産 |
| ③ 塩数の子・醤油いくらセット | 大島水産 |
| ④ たらこどーんとセット2kg | 清水商店 |
| ⑤ たらこばら切なんと3kg | 清水商店 |

の広告掲載、2回以上の寄付者への挨拶状などの取組みを行いました。

「ホッケの刺身」9割が美味しく食べられる 試食会でのアンケート結果



12月5日、文化会館で、今年度開発を進めている新・ご当地グルメ「ホッケの刺身試食会」が開かれ、町議会議員、飲食店等の関係者、公募で参加した町民など65人がホッケの刺身を試食し、意見交換を行いました。



12/5 試食会の様子

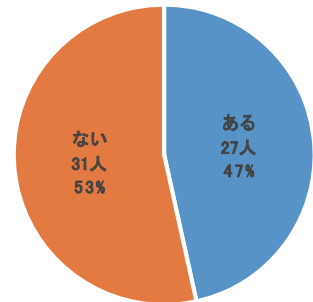
アンケート回答者は、参加対象者の構成上（町議会議員や町内会長など）88%が男性で女性の割合が低く、年齢層は40代以上が79%と若年層が少ない状況でした。



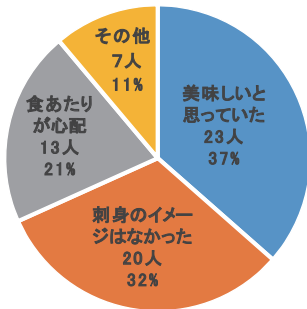
半数以上が食べたことはなかった

「ホッケの刺身を食べたことはありますか」という質問には、ホッケの水揚げがたくさんある古平町でも半数以上の53%の方が「食

べたことはない」という回答でした。



「試食前のホッケの刺身のイメージは」という質問には、37%の方が「美味しい」と思っていた」と回答したのに対し、32%の方は「刺身で食べられるイメージはなかった」、21%の方は「食あたりが心配で刺身では食べられない」と思っていた」という回答でした。

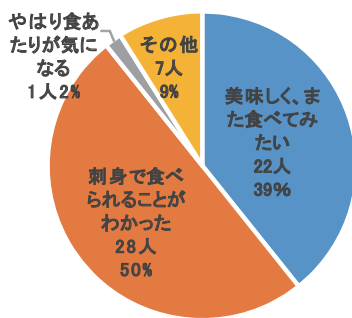


試食前は半数以上の方がホッケは刺身では食べられないというイメージを持っていました。



ホッケは刺身で食べられる

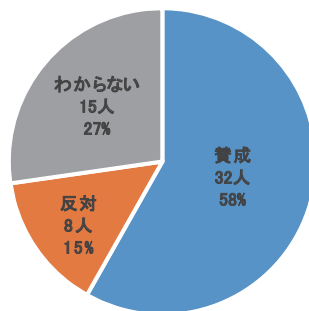
「試食を終えた現在のホッケの刺身のイメージは」という質問には、39%の方が「美味しかった。また食べてみたい」、50%の方が「刺身で食べられることが分かった」と回答しました。試食会を経て、約9割の方に「ホッケは美味しく刺身で食べられる」というイメージを持ってもらうことができました。



今後の事業方針

「ホッケの刺身をメイン食材として今後も事業を進めることについてどうか」という質問には、58%の方が「賛成」、15%の方は「反対」と回答しました。「わからない」と回答した方も

27%おり、「提供できるお店が増えればよいが、協力店舗の確保が難しいのではないか」「美味しいがメインとしては疑問がある」などの意見がありました。



当初は、北海道じゃらん元編集長のヒロ中田さんがプロデューサーとして進めてきましたが、中田さんが求める参加店舗数を確保できなかったことから一緒に進めることは中断しています。しかし、日帰り観光客誘致のため「ご当地グルメ」や「特産品」の開発は必要であることから、今後はアンケートなどを参考にしながら、役場産業課が事務局として、継続して検討を進めていきます。

民生委員・児童委員改選

古平町の民生委員・児童委員が11月末日で任期満了となり、現職14人、新任3人が新たに、12月1日から3年間の任期で厚生労働大臣より委嘱をされました。12月13日に行われた定例民生委員協議会で、各委員は本間町長から代わって委嘱状を受け取りました。

民生委員は各担当地区の住民の状態を把握して、援助を必要とする方の相談や支援、役場との橋渡しなどを仕事としています。身分は非常勤の地方公務員で仕事上、知った個人情報などは絶対に漏らさないことになっていきます。また奉仕者であるため給与は無報酬です。

委嘱された委員は下記のとおりです。



工藤 誓子
[旭・あけぼの・栄・畑]



高野 幸子
[旭・あけぼの・栄・畑]



八戸 美喜子
[浜一]



田口 裕美子
[沢江町]



石沢 和子
[沖町]



本間 智弘
[本陣]



高見 純子
[清住]



三浦 愛子
[浜五]



佐々木 洋子
[銀座]



大石 奈穂子
[浜三]



堀 光子
[丸山町]



本間 まるみ
[本町]



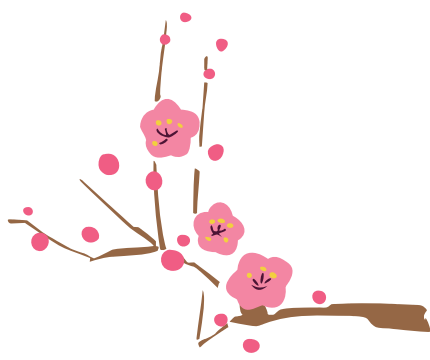
岩戸 まゆみ
[入船町・御崎町]



加我 美津子
[新地町・群来]



八幡 祐子
[港町]



菊地 とみ子
[主任児童委員]



田畑 正
[主任児童委員]

体力アップにチャレンジしませんか!



～海洋センターからのお知らせ～

海洋センターアリーナに体力測定のできるスペースを作りました。
「握力」「立ち幅とび」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」の計測ができるほか、
「スラックライン」「バランスボール」「ハンドグリップ」を常設しています。
備品の貸し出しについては無料ですので、ぜひ海洋センターへお越しください。



■利用時間 9:00～21:00

アリーナが一般開放している時間帯はいつでも利用できます。

※ただし、大会等での全館占有利用等で使用できない場合もあります。

■休館日 毎週月曜日及び年末年始（12月30日～1月5日）

常設なので気軽に使えます!!



立ち幅とびコーナー



スラックラインコーナー

◇お問い合わせ先

古平町教育委員会 生涯スポーツ係

B&G 海洋センター内 ☎42-2300





平成29年古平消防団出初式

町民の安全・安心を守り抜く

1月6日、文化会館で、北後志消防組合古平消防団が出初式を開催し、出席した団員30人が町民の安全・安心を守り抜く決意を新たにしました。消防車両など5台による町内パレードの後、文化会館前駐車場で団員の服装点検や高野俊和団長から統監を務める本間順司町長へ的人员報告などが行われました。

会場を文化会館太陽ホールに移してからは、長年にわたり地域防災のために活動し功績のある消防団員の表彰が行われ、本間町長は「昨年、全国では様々な災害が発生していた。災害はいつどこで起こるかわからない。今後も町民の生命と財産を守ることに尽力していただきたい」と激励しました。

式の終わりに高野団長は「昨年は全道各地で大きな災害が発生した。幸い古平町に被害はなかったが、団員一同、決意を新たに、災害に強い町づくりに向け消防団活動にまい進していく所存です」と答辞を述べました。



上段：文化会館前で行われた人員報告等と表彰状伝達

下段：高野団長答辞



平成29年消防団出初式表彰状伝達者

北海道知事表彰	20年勤続	(副分団長) 梅野史朗・(部長) 小野寺直幸
北後志消防組合管理者表彰	30年勤続	(班長) 加藤雅
	20年勤続	(副分団長) 梅野史朗・(部長) 小野寺直幸・(班長) 本間弘幸・(団員) 白岩義久
	10年勤続	(班長) 野上和俊・(班長) 本間大資
北海道消防協会会長表彰	功績章	(副団長) 岩谷英春・(副分団長) 清水禪・(部長) 山本廣志・(部長) 松田進
	30年勤続	(班長) 加藤雅
	20年勤続	(副分団長) 梅野史朗・(部長) 小野寺直幸・(班長) 本間弘幸・(団員) 白岩義久
	10年勤続	(班長) 野上和俊・(班長) 本間大資

2月の休日当番病院

◇ 2月5日(日)

よいち北川眼科医院

(☎ 22 - 1308)

◇ 2月11日(土)

池田内科クリニック

(☎ 23 - 8811)

◇ 2月12日(日)

黒川町整形外科クリニック

(☎ 22 - 2447)

◇ 2月19日(日)

森内科胃腸科医院

(☎ 32 - 3455)

◇ 2月26日(日)

よいちクリニック

(☎ 21 - 4570)

※当番医の診療時間は9時～17時まで。

※夜間については余市協会病院で急患に限り診療しております。

診療時間 午後6時～翌日午前7時
診療科目 内科、小児科、外科、

整形外科



第4回定例会 行政報告 (抜粋)



12月15日に開会された第4回定例会で、町長が「行政報告」、教育長が「教育行政報告」を行いました。

総務関係

新庁舎建設を検討

11月22日、4回目の新庁舎建設調査研究委員会を開催し、これまでの経過や事実確認を行いました。役場本庁舎は昭和2年に、文化会館は昭和47年に建設されたものであり、いずれの建物も耐震基準を満たしていない状況にあります。平成27年度に実施した役場庁舎劣化度調査においては、仮に耐震診断を行ったとしても「崩壊する危険性が高い」という判定になるとの予想で、耐震補強についても短期的な補強は可能だが、長期的には困難との報告書でした。バリアフリーへの対応や住民の利便性、IT機器の設置や職員の作業スペースの確保など多くの課題を解決するためにも新庁舎建設の実現が望まれることから、関係機関と連携をとりながらスケジュールの調整・確認を行ってまいります。

企画関係

原子力総合防災訓練を実施

11月13～14日の2日間、

国及び道、泊発電所周辺13町村などによる原子力総合防災訓練が行われました。古平町では小樽市への住民避難訓練や安定ヨウ素剤配布訓練を北海道知事が視察されている中で行いました。訓練は特別な混乱もなく終了しましたが、参加者からのアンケート調査や防災関係機関の事後調査を整理し、古平町の防災体制の更なる充実強化に努めます。

また、只今整備を進めている古平小学校放射線防護対策事業ですが11月末時点で進捗率は30%で、本工事と併せて行った備蓄物資の購入については11月21日に全て納入を完了しました。

ふるさと納税前年度上回る

1年の中で最も寄附が集まる11～12月に向け、インターネットふるさと納税サイトや雑誌での広告掲載、2回以上の寄付者への挨拶状などの取り組みを行った結果、11月末時点で寄附件数23904件（対前年同期比149%）、寄附金額3億1214万円（対前年同期比141%）と当初予算計上時の想定より伸びています。贈呈品については

一部の業者に人気が集まっているという偏りはあるものの、当初の目的であった水産加工業への支援は果たせていると考えています。中央バス「積丹線」は黒字

積丹町と小樽市を結ぶ北海道中央バス「積丹線」の平成28年度の決算が示され、マツサン効果による利用者増や燃料安が主要因となり、昨年に引き続き黒字決算になると報告がありました。古平町にとって「積丹線」は唯一の公共交通機関ですので沿線自治体や事業者と連携しながら利用者増の方策を考えていかなければなりません。

税財政関係

町税収納状況

11月末における町税の収納率については、純固定資産税が0.1%、都市計画税が0.5%上昇していますが、個人町民税が3.4%、軽自動車税が0.2%マイナステとなり、税総体としても2.4%の減となっています。なお、国民健康保険税は4.9%増となっています。また、平成28年度の税収見込額については

対前年度1175万6千円（5.6%）増となる見込みです。

民生関係

民生委員一斉改選

民生委員・児童委員の任期満了に伴う一斉改選については、現職14人、新任3人が12月1日付けで厚生労働大臣から委嘱決定されました。町としては今後も民生委員の活動をサポートしていきます。

臨時福祉給付金

12月1日まで申請を受付けていた臨時福祉給付金は11211人総額363万3千円、障害・遺族年金受給者222人には総額666万円の支給決定をして事業終了となっています。一方、国の第2次補正予算において今年3回目の臨時福祉給付金の実施が決定しており、給付額は1人1万5千円で古平町の対象者は1200人を見込んでいます。申請の受け付開始は3月中旬を予定しています。

保健福祉関係

元氣プラザにスプリングラー設置

自力で避難することが困難な要介護者の入居・宿泊が常態化している施設について、スプリングラー設置義務化に対する猶予期限が平成30年3月31日までとなっていることから、法の対象となる元氣プラザのスプリングラー設置を平成29年度に実施するため、実施設計を今年度中に行います。

海の町クリニック受診者数 6133人

少しずつ受診者は増加している状況にあり、11月末までの診療日数は135日間で、受診者数の延べ人数は6133人、受診者数は1日平均は約45人でした。

診療科別の構成比は内科が約67%、外科・整形外科が約15%、皮膚科が約3%、小児科が約2%となっています。

診療所の運営を行うにあたり「古平町立診療所運営協議会」を発足させます。また、医師2名体制の実現に向け医師住宅の実設計を行うほか、スプリングラー設置へ向けた実施設計、待合所の椅子交換などを行います。

秋の住民健診

11月8日から2日間、文会館と漁港会館で実施した秋の健診は、56名（前年比15名減）が受診し、春期と合わせて189名（前年比11名減）が受診されました。また、特定健診を受けられた36名のうちメタボ該当者は3名、予備群が4名で、春期と合わせると受診者121名のうちメタボ該当者は25名、予備群が13名となりました。メタボ該当者は男女ともに全国水準を上回っておりますが、予備群では男女ともに全国水準を下回っている状況です。

産業関係

作柄状況

水稲・畑作ともに「やや良」の収穫量が見込まれておりましたが、農業委員会の協議の結果「平年並み」の収穫量となりました。水稲農家2戸が今年6月に立ち上げた「ふるびらくりーん水稲生産部会」では冬季間も水田に水を張る「冬季湛水」を実施したところであり、その成果に期待をしております。

林業関係

10月22日、歌棄地区の林業専用道鼻垂石線付近で今年度の植樹祭を実施しました。約70名の手によって、赤エゾマツ200本、マカバ200本の苗木を1時間ほどかけて植樹しました。なお、工事関係については「林道チヨペタン線小規模林道整備事業」「森林環境保全事業」がそれぞれ完了しています。

磯焼け対策事業

東しゃやこたん漁協浅海部会が「キタムラサキウニの海中カゴ養殖実証事業」や「海中林造成事業」を開始し、町としてもこの事業が漁業者の所得向上に繋がることを大いに期待しています。

11月末漁獲状況

数量で161トンの増の235ト（前年同期比7.8%増）、金額では5512万円増の9億5232万円（前年同期比6%増）となり、イカの豊漁と高値が大きく影響しています。一方期待されていた秋サケ漁については数量・金額ともに前年対比約6割程度で終了し残念な結果となりました。

温泉・家族旅行村・パークゴルフ場利用状況

各施設の利用状況は表1のとおりです。

	利用者数(人)	前年同期比
温泉	43,691	1.6%減
家族旅行村	3,121	1.0%減
パークゴルフ場	3,326	7.1%減

温泉での「ゆず風呂」の提供やパークゴルフ場でのティーグラウンドの改修など施設整備やサービス向上に努め集客増を図っていきます。

観光PR・イベント

12月5日、「新・ご当地グルメ」開発にあたり、町民の皆さんにこれまでの経過を報告し実際に「ホッケの刺身」を試食していただく「ホッケの刺身試食会」を開催しました。今回の感想を事業推進に役立て、地場産食材の需要拡大やブランド化を促進する等、積極的にPR活動を展開していきます。また、海の町と山の町の連携事業として、10月10日の古平ロードレース大会に京極町を招き入れる

ことができ、観光事業の強化・発展に繋げる最初の一步を着実に構築することができました。

建設水道関係

国・道の実施する主な工事が実施する国道5号新忍路トンネル工事は平成29年2月までの工期で進捗率97%です。

道が実施する古平川改修工事は古平川上流右岸側に工事延長91m、築堤工430m、護岸工561mで来年2月までの工期で進捗率90%となっています。

町の実施する工事は表2のとおりです。

表2 町が実施する工事(11月30日現在)

工事名	進捗率	工期
町道高校通線改良工事	80%	H29.3
町道高校通線配水管移設工事	完成	H28.11
町道高校通線下水道管渠移設工事	20%	H29.1
橋梁長寿命化修繕工事	95%	H28.12
清川団地B棟建設工事	40%	H29.1
栄団地屋根改修工事	完成	H28.11
栄団地内窓改修工事	完成	H28.11
配水管布設替工事	完成	H28.11
町道中央栄町線舗装補修工事	10%	H28.12

第4回定例会 教育行政報告 (抜粋)



学校教育関係

全国学力・学習状況調査

小学6年生、中学3年生を対象に4月に実施された全国学力テストの平均正答率が公表されました。後志は小学校算数Bで全道平均を上回りましたが、ほかは全科目で全道平均を下回りました。古平町の結果は広報12月号でお知らせしましたが、相変わらず勉強よりもテレビ・ゲーム・スマホに費やす時間が長く、睡眠時間を削って行っていることがうかがわれました。

古中祭・古小学芸会

10月2日に古中祭、16日に古小学芸会が行われました。子どもたちは練習の成果を十分に発揮し、全校合唱をはじめ、劇や音楽に組み、100人を超える保護者や地域の方から大きな声援をいただいています。

弁論大会・英語暗唱大会

例年行われている後志中文連北地区弁論大会が10月21日に開かれ、本校からも校内弁論大会で選出された2名が参加しましたが、残念ながらその後志大会への出場

にはいたりませんでした。

このほか、後志英語暗唱大会で優秀賞2人、税の作文では北海道関税連合会長賞と余市税務署長賞を受賞、人権作文コンテスト小樽地区大会で入選するなど文化面での活躍が目立ちました。

古中吹奏楽部定期演奏会

第41回目の定期演奏会が開催され、クラリネットアンサンブルやアニメ曲など10曲を演奏し、会場に集まった約80人の観客からたくさん声援をいただきました。3年生7人が引退することから来年度以降の吹奏楽部の存続が危ぶまれます。

漁師さんの出前授業

地元の基幹産業に親しんでもらおうと、例年中学校で行われている漁師さんの出前授業を今年は小学校の4年生にも取入れました。漁で使用する漁具の説明やロープのつなぎ方の実演に子どもたちは夢中になっていました。

小学校で朝読書週間

6月に引き続き11月7日～12月2日までを秋の読書週間としている。いろいろな取組み

に挑戦しました。読書カードに呼んだページを記録して1冊読むごとに感想を学級ごとに発表しあつたほか、学校司書による読み聞かせなどを行った結果、本を読む意欲が高まっています。

生涯学習・スポーツ関係

文化祭作品展示会・発表会

10月26日から30日まで文化祭館太陽ホールで文化祭作品展示会が行われ10団体12個人から274点の展示がありました。11月3日には文化祭発表会も行われ9団体が日頃の練習の成果を披露しました。

異業種交流会

「異業種交流会」が主催するソフトボール大会が9月25日に行われ、多くの若者が参加し親睦を図っていました。11月に開かれた2回目の実行委員会で、今年度の婚活パーティーを来年2月4日に開催することが決定されました。

教育講演会を開催

11月16日に生涯学習推進協議会とPTA連合会の共催による教育講演会が開かれました。講師にノンフィ

クション作家千石涼太郎氏を招いて「子育てから始まる町づくり」をテーマに講演をいただき、子育てや町づくりについてのアドバイスをいただきました。

ロードレース大会

41回目を迎えたロードレース大会は10月10日に行われ、1098人(町内244人・町外854人)の参加がありました。当日は、雨模様という予報のため開・閉会式を海洋センター体育館で行うよう準備を進め、事故もなく無事終了することができました。

野球スポーツ少年団卒団式

12月3日に古平野球スポーツ少年団の卒団式が行われ、7人の卒団生が野球に取組んできた思い出を述べました。全員が一番の思い出として札幌つどいむで試合ができたこと、過去一度も勝てなかった朝里ホーネットに勝ったことを嬉しそうに話していました。

平成29年古平町成人式

平成29年の成人式は1月8日に挙行することを決定し、対象者は18人です。

第4回定例会で審議された案件

12月15日に開催された、第4回定例会では、次の案件が審議されました。



〈議案第50号〉

〈原案可決〉

平成28年度古平町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

現行予算に1974万1千円を追加し予算総額を1億9221万7千円とするものです。主な内容は、前年度決算が確定したことに伴い後志広域連合分賦金精算還付金を増額補正するものです。

〈議案第51号〉

〈原案可決〉

平成28年度古平町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

現行予算に20万8千円を追加し予算総額を6040万8千円とするものです。主な内容は、前年度決算が確定したことに伴い繰越金を増額補正するものです。

〈議案第52号〉

〈原案可決〉

平成28年度古平町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

現行予算から1702万4千円を減額し予算総額を1億7497万6千円とするものです。主な内容は配水管布設替工事請負費等を決算を見込んで減額補正するものです。

〈議案第53号〉

〈原案可決〉

平成28年度古平町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)

現行予算に184万9千円を追加し予算総額を5284万9千円とするものです。主な内容は、前年度決算が確定したことに伴い繰越金を増額補正するものです。

〈議案第54号〉

〈原案可決〉

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案

地方公務員の育児休業等

に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律に基づき、職員の介護休暇の期間の変更のほか介護時間を新設するものです。

〈議案第55号〉

〈原案可決〉

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案

地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律に基づき、育児休業の対象となる子の範囲を拡大するものです。

〈議案第56号〉

〈原案可決〉

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案

平成28年人事院勧告に基づき、一般職の職員の給料や勤勉手当、扶養手当の支

給率等を改正するものです。

〈議案第57号〉

〈原案可決〉

古平町農業委員会定数条例案

農業委員会等に関する法律の一部改正に基づき、農業委員の選出方法が、選挙から町長の任命制度に変更されたことにより、現行の古平町農業委員会の選挙による委員の定数条例を廃止し、新たに制定するものです。新たな委員定数は8人です。

〈諮問第1号〉

〈原案同意〉

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員の候補者として、坂下肇一氏を推薦するため、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるものです。

議会

平成28年度古平町一般会計補正予算(第4号)

現行予算に1億6879万3千円を追加し予算総額を41億1731万8千円とするものです。主な内容はふるさと納税贈呈品事業に係る費用及び臨時福祉給付金に係る費用等を増額補正するものです。

国や道などからのお知らせ

さくらます船釣りライセンス制

船釣りライセンス制は、さくらます資源の保護と適切な漁場利用調整を図るため、海区漁業調整委員会の指示に基づき、一定のルールのもとで船釣りをを行う仕組みです。

○実施期間 平成29年3月1日～平成29年5月15日

詳細は左記にお問合せください。

◇お問合せ先

後志管内さくらます船釣りライセンス制実行協議会事務局

☎0134-22-5133

子ども相談支援センター相談窓口

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなどを相談してください。

○電話相談

無料で毎日24時間対応しています。
☎0120-3882-56

○メール相談

返信に数日かかる場合があります。お急ぎの方は電話相談を利用してください。

token-sodan@hokkaido-c.ed.jp

○来所相談

ご予約をお願いします。

場所 子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁

目 道庁別館8階
時間 午前10時～午後4時
土・日・祝日、年末年始除く

◇お問合せ先

北海道教育委員会学校教育局

☎011-231-4111

確定申告のお知らせ

平成28年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告の相談及び申告書の受付は、2月16日から3月15日までです。

確定申告書は、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」(<https://www.keisan.nta.go.jp/>)で作成し、印刷して郵送等により提出することができます。(確定申告書等作成コーナーの操作方法などに関するご質問はヘルプデスク(☎0570-01-5901)へお問合せください。)

税務署などの確定申告会場にお越しの際には、「前年の申告書控え」、確定申告に必要な書類及び印鑑をご持参ください。

申告をする方や扶養親族の方などのマイナンバーの記載が必要になります。マイナンバーを記載した申告書を提出する際には、申告者ご本人の本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です(控除対象配偶者、扶養親族及び事業専従者などの本人確認書類は不要です)。

○本人確認書類の例

例1 マイナンバーカード

例2 通知カード+運転免許証、
公的医療保険の被保険者証など

◆確定申告会場開設のお知らせ

次のとおり確定申告会場を開設します。申告書の作成には時間がかかりますので、午後4時頃までにお越しください。なお、会場が混雑している場合には、受付を早めに締め切ることがあります。

○会場 余市税務署 3階

○期間 平成29年2月16日～3月15日(土・日・祝祭日除く)

○時間 午前9時～午後5時

2月15日以前は、確定申告会場を開設していません。確定申告のご相談は、申告会場を開設する2月16日以降にお越しください。

また、申告に関するご質問や必要な書類のご確認などは、お電話でも問い合わせることができます。

◇お問合せ先

余市税務署 ☎22-2093

屋根からの落水雪事故防止のお願い

毎年、沿道建物等からの落水雪による死傷事故が多く発生しています。皆さんも冬期間の生活にはご苦労さされていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、事故をなくすため、特に次のことに注意するようお願いいたします。

○落水雪事故の発生が懸念されるような沿道建物等については、雪止めを設置するようにしてください

○既に雪止めが設置されている場合

でも、針金等の錆、老朽化等による破損が原因で落水雪事故が発生することもあるため、必ず点検し、破損等が発見された際は早急に修繕するようにしてください

○落水雪事故は、気温が-3℃から+3℃程度のときに発生しやすい特徴があるため、早めに除雪するとともに、除雪の際には歩行者や遊んでいる子ども等に十分注意するようにしてください

○落水雪があった場合は、直ちに事故がないか確認するとともに、歩行者の通行の支障にならないように排除してください

○交通事故及び交通障害防止のため、屋根からの落水雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください

○軒下を通行するときは、屋根からの落水雪に十分注意するようにしてください

○軒下や道路では、絶対に子どもを遊ばせないようにしてください

○ビルの壁、窓枠、突出看板等からの落水雪は少量でも危険なため、早めに付着した氷雪の除去を行うようにしてください。また、氷雪の除去の際には、歩行者への十分な安全対策を行うようにしてください

北海道開発局・北海道・北海道警察

無料法律相談のご案内

毎月第3水曜日に無料法律相談所

を開設しています。金銭、不動産、家事等の法律問題を札幌弁護士会所属の弁護士が相談に応じます。お気軽にご利用ください。

○日時 2月15日(水)午後1時〜

○場所 余市中央公民館2F

相談時間は1人、30分までで、事前予約が必要です。

◇お問合せ先

役場 民生課 福祉係

☎ 42-2181

各種自衛官等の募集

○自衛官候補生(男子・女子)、予備自衛官(一般・技術)を募集します。

細部応募資格等については左記へお問い合わせ下さい。

◇お問合せ先

自衛隊札幌地方協力本部

小樽地域事務所

☎ 0134-2215521

北海道警察官の募集

北海道警察官を募集しています。

採用試験は年2回実施されます。採用試験・施設見学・業務内容等の詳細については、お問い合わせください。

◇お問合せ先

余市警察署 警務課

☎ 22-01110

2月7日は北方領土の日

1855年(安政元年)2月7日、

伊豆の下田で「日露通好条約」が結ばれ、日本とロシアは択捉島とウルップ島の間に国境を定め、択捉島以南の北方四島を日本の領土として国際的に明らかにしました。

この歴史的な意義を持つ2月7日は、平和的な話し合いで領土返還を要求する北方領土返還要求運動推進の目的に最も適した日であることから、「北方領土の日」として設けられています。

2月7日を中心とした1ヶ月間(1月21日(土)〜2月20日(月))を北海道独自に「北方領土の日特別啓発期間」として定め、重点的な四島返還要求運動の実施を図ります。啓発事業等を展開いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

◇お問い合わせ

北方領土復帰期成同盟後志支部

☎ 0136-2210216

平成28年1月1日以降に

古平町に居住された方はいけませんか

「民間賃貸住宅家賃補助制度」を利用できます

古平町では移住・定住促進の施策として、町内に住宅を借りて住む場合に家賃の一部を助成しています。

対象となる方

- ① 次の条件を全て満たしている方
- ② 世帯全員が平成28年1月1日以後に住民登録した者であって、当該住民登録した日以前5年までの間に住民登録されていないこと
- ③ 賃貸する住宅が専用の玄関・便所・浴室を有し、30㎡以上の床面積があること
- ④ 世帯員に当年度の個人町民税課税標準額が300万円を超える方がいないこと
- ⑤ 世帯員に町税等の滞納がないこと
- ⑥ 生活保護世帯でないこと
- ⑦ 世帯に国家公務員又は地方公務員がないこと

補助金の額

家賃月額×補助割合(20%又は10%)で上限月額1万円

○補助割合

- ・ 賃貸契約者が40歳以下又は18歳以下の者を養育している方 20%
 - ・ それ以外の方 10%
- ※ 共益費及び駐車場代は対象外。また、勤務先等から住宅手当が支給されている場合はその金額を除いた額を家賃月額とします。

補助金の申込み

- ・ 次の書類を提出してください。
- ・ 補助金交付申請書
- ・ 賃貸契約書の写し
- ・ 住宅間取図
- ・ 誓約書兼同意書
- ・ 世帯全員の所得証明書

◇申込み・お問合せ先

役場 建設水道課 建築係
☎ 42-2181

文化教室を開催

手打ちそば作りを体験

12月16日、文化会館で、文化教室が開かれ、参加者14人は「手打ちそば作り」を体験しました。

講師は小樽市のNPO法人自然教育促進会渡辺伸一さんで、参加者は講師の手本を見ながら、そば粉と中力粉、水を混ぜ合わせてこねて麺棒で薄く延ばし、最後に麺切包丁でそばを均等な太さに切りました。おおよそ1時間で完成させていました。

講師は「そばにはルチンという栄養素が含まれていて体とてもいいです。ご家庭でも作ってみてください」と呼びかけていました。

参加者は出来上がったそばを試食して「思っていたより作り方は簡単だった」「味は美味しくできたので今度は千切れてしまわないように作りたい」などと話していました。



手打ちそば作りを楽しむ参加者



イルミネーション点灯式

一足早いクリスマスプレゼント

12月17日、町役場前のイチョウとオンコの木計3本に取り付けられたイルミネーションの点灯式が行われました。

町職員有志でつくる実行委員会が企画し、昭和63年から毎年行われ、今年で29回目の開催となります。設置費用や電気代などは同委員会が自主制作したカレンダーの販売収入などで賄っています。

点灯式ではカウントダウンの合図で赤・青・白の電飾が光ると、200人の参加者から大歓声と拍手が沸き起こりました。お菓子の詰め合わせがもらえるビンゴゲームも行われ、子どもたちは一足早いクリスマスプレゼントに喜んでいました。

参加した田中杏奈さん(中3)は「イルミネーションはきれいだし、ビンゴゲームも楽しかったです」と話してくれました。



イルミネーションを楽しむ参加者



歳末防犯パトロール

防犯意識の向上につなげる

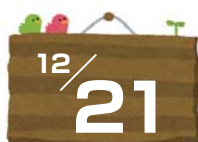
12月21日夜、古平町防犯協会が「歳末防犯パトロール」を行いました。

パトロールに先立ち、文化会館で行われた出陣式では、内田正雄会長が「住民は安全・安心な町であることを願っています。このパトロールは小さな活動ですが、自らも活動することにより、防犯意識の向上や犯罪発生の抑止力につながればと思います」とあいさつ。

パトロールには町内会や消防団員のほか警察署員など34人が参加。参加者は3班に分かれ、町内の各商店を回り、「現金管理と戸締りをしっかり」、「火の用心」、「飲酒運転の撲滅」などを呼びかけながら啓発品を配りました。



各商店を回り防犯啓発品を配付



東しゃこたん漁協古平地方卸売市場で初競り

市場に威勢のよいかけ声が響く

1月4日、東しゃこたん漁協古平地方卸売市場で、初競りが行われました。年末年始で休業していた市場に競りのかけ声が威勢よく響き、新年がスタートしました。

競りに先立ち、同漁協や仲買人ら関係者22人が出席して祈願祭が行われ、海上安全などを祈願しました。漁協神哲治組合長は「昨年は災害などで大変な年でしたが、今年はこの市場にたくさんの水揚げがあるよう、大漁と皆様の安全を祈っています」とあいさつし、三本締めで今年一年の豊漁を願いました。

競りに並んだのは、古平沖で水揚げされたアンコウやカレイなどおおよそ8トン800箱。競り人らの声が飛び交う中、次々に競り落とされました。



水揚げされた魚を囲む仲買人



古平町かったら君カード会お年玉抽選会

新春恒例の運試し

1月4日、文化会館で、古平町かったら君カード会が主催する「お年玉抽選会」が行われ、大勢の町民が新春の運だめしを行いました。

ポイントカード「かったら君カード」が満点で1回の抽選ができ、賞品は特賞の千円つかみ取り2本のほか、トイレトペーパーやコーヒーなど5種類から選べる賞品などで、当たり総数は500本でした。ハズレても町内26店舗で使用できる500円分の商品券が参加賞となっていました。

会場では、特賞の千円つかみ取りや1等の硬貨つかみ取りが出ると大きな拍手が沸き起こり、参加者は当たった賞品を両手いっぱいを持ち、嬉しそうにしていました。



特賞の千円つかみ取りに挑戦する参加者



書初め大会

力強い作品を書き上げる

1月12日、文化会館太陽ホールで、新年恒例の書初め大会（教育委員会主催）が行われ、小学生から中学生まで55人が参加しました。

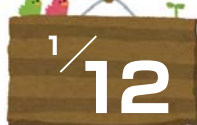
講師を務めた町内で書道教室を開いている三浦愛子さんは「筆にたっぷり墨をつけて、元気に力いっぱい字を書いていい作品を作ってください」とアドバイス。

子どもたちは、「しぜん」「星ぞら」「世界を結ぶ」など学年ごとの手本を見ながら1時間半かけて作品を書き上げました。

渡部慈武くん（小5）は「半紙からはみ出そうなくらい大きな字を書けました」と話してくれました。



手本を見ながら作品を仕上げる子どもたち





本の海より ～ 新刊図書案内 ～



～文学～

朝が来るまでそばにいる	綾瀬まる
猿の見る夢	桐野夏生
土の記 上・下	高村薫
危険なビーナス	東野圭吾
マチネの終わりに	平野啓一郎
美しい距離	山崎ナオコ
ハリー・ポッターと呪いの子	J・K・ローリング

～社会～

住友銀行秘史	國重惇史
プライベートバンカー	清武英利
日本人はどこから来たのか？	海部陽介
史上最狂の大統領候補！	ドナルド・トランプの大放言
感情的にならない本	和田秀樹
人はいくつになっても、美しい	タフネ・セルフ
考える練習をしよう	マリリン・バーズ
戦国武将の解剖図鑑	本郷和人

～生活～

はじめてのつるし飾りとちりめん細工	山口信子
アロマフレスカ直伝 おいしさに差がつく！	イタリアンのコツ60 原田慎次
北海道の海岸特選釣り場ナビ	
あたらしい栄養事典	田中明
北海道 鉄道駅大図鑑	本久公洋

～絵本～

中をそうぞうしてみよ	佐藤雅彦
ママのスマホになりたい	のぶみ
わにさんどきっはいしやさんどきっ	五味太郎
きいろいのはちようちよ	五味太郎

～児童書～

時の迷路	香川元太郎
宇宙の迷路	香川元太郎

文化会館図書室に新しい本が入りました。ハリー・ポッターシリーズの新作『ハリー・ポッターと呪いの子』や、俳優・ミュージシャン・文筆家など幅広い活躍を見せる星野源のエッセイ『蘇える変態』など話題の本も多数取り揃えております。ぜひ、お越しく下さい。

～その他～

ずっと信じていたあの知識、実はウソでした！
トキオ・ナレツジ

若冲への招待
色の名前
ゴールドカムイ 8・9巻 野田サトル
魔法のコンパス 道なき道の歩き方 西野亮廣
サラリーマン山崎シゲル 第3巻 田中光
切本
永六輔のお話し供養 永六輔
人生という夢 小檜山博
蘇える変態 星野源

新刊図書がたくさん入りました。ぜひ、ご利用ください。



文化会館図書室
★開室日時
月～金曜日
(祝・祭日を除く)
午前10時～午後5時
(司書：木曜日午後と金曜日)
★貸出冊数
1人5冊まで
★貸出期間 2週間
◇お問合せ先
町教育委員会
☎ 42-2590

いきいき・ほのぼの文芸

古平町岬短歌会

この年も同期の友が永久の旅に笑顔の多き人もありたり
文化祭心づくしのお赤飯友のやさしさ心に入れぬ
水害に心の折れし人々に希望もたらす日ハム選手
若き日に勤めし留萌・鉄道の廃線の記事隔まで読みぬ
冬の空太く大きな虹の橋季節はずれの自然の姿
二十年ぶりの空の旅興奮とやや不安とが胸に溢るる
くるみの木歳月かさねたくましく大木となる幹の太さよ



古平俳句会

冬さるる浜に人見す舟も見す
棧橋の今は無き浜冬さるる
雪くつの後を振り向く男かな
雪化粧まぶしく羊蹄山凜と立
句やかに冬満月や波の上
彼方より雲のふくらむ冬の朝
寒がりの頑固一徹友逝けり
初冬の空を駆せゆく影法師



まちの事件簿



平成28年（1月1日～12月31日）
中において発生した事件・取扱件数は次のとおりでした。

◆刑法犯関係

- ・ 窃盗 3件
- ・ 還付金詐欺未遂 1件



◆交通事故関係（ ）内は負傷者数

- ・ 人身事故 3件（5人）
- ・ 物損事故 36件



余市警察署古平駐在所

☎ 42-2044

ご寄付いただき誠にありがとうございました(敬称略)
◎現金
1,000,000円
福津隆範(港町)
100,000円
本間好晴(本町)

おたんじょうおめでとう

氏名	生年月日	保護者	町内
齊藤 碧翔	12・3	恭兵	御崎町
羽生 来陽	12・13	圭佑	あけぼの
鈴木 英佑	1・5	篤志	港町

ご冥福をお祈りいたします

氏名	年齢	死去月日	町内
米田 俊一	78歳	12・15	歌棄町
本間 鈴江	94歳	12・19	本町
佐藤 まり	87歳	12・20	鴨居木
細野 吉作	91歳	12・29	港町
岩崎 信一	87歳	1・3	港町
吉田智代子	79歳	1・9	新地町
高橋 豊子	90歳	1・10	浜三
大橋 ユキ	95歳	1・12	丸山町
勝山 ハル	87歳	1・15	浜一



町の人口と世帯数

人口	3,205人	前月比 (-3)
男	1,520人	(-1)
女	1,685人	(-2)
世帯数	1,792世帯	(-1)
外国人	43人	(0)
男	2人	(0)
女	41人	(0)

(平成28年12月末日現在住民基本台帳人口)

1月8日、文化会館で、平成29年古平町成人式が行われました。会場では、振袖やスーツなどに身を包み出席した新成人16人(対象者18人)の門出を祝いました。

式では、成田昭彦教育長が「社会人としての自覚を持って、失敗を恐れずに行動してほしい」と呼びかけていました。

新成人を代表して大野祐さんと成田愛香さんが「知性と教養に富んだ民主的青年として、自己の完成に努めます」などと宣誓したほか、4人による決意表明も行われ「生まれ育った古平をよい町にできるように頑張りたい」と発表していました。



(三列目左から) 梅内勇斗、若松泰輝、大野祐、永山武大、丹波康輔、川尻聖菜、山口雄生、高谷龍祐
(二列目左から) 笠原美雪、本間利和子、本間炊、市橋栄美子、本間千枝、村上京子、澤田康司、菊地修二、白川浩一
(一列目左から) 久保田莉菜、渡部優希、竹谷麻未、成田愛香、逢見輝績、本間順司、成田昭彦、大宮詩寿久、永井歌織、藤野菜月、高橋瑞生
※敬称略